

報道関係者 各位

2022年4月4日
サラエナジー株式会社

豊橋市市有施設への再生可能エネルギー等導入事業の協定を締結

～サラの総合力で「ゼロカーボンシティとよはし」の実現をサポート～

サラエナジー株式会社（本社：愛知県豊橋市、代表取締役社長：鳥居 裕、以下「当社」）は、2022年3月8日、豊橋市（以下「同市」）の市有施設への再生可能エネルギー等導入事業（PPA*1事業、以下「本事業」）の契約候補者に選定され、2022年3月30日に同市と当社東三河支社（支社長：倅山 誠）は協定を締結しました。

本事業は、当社と長州産業株式会社（本社：山口県山陽小野田市、取締役社長：岡本 晋）が、同市が有する地区市民館などの避難所施設を中心とする15施設に太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、当社がエネルギーマネジメントシステムによる運用、保守管理などを一貫して実施するものです。2022年度中に設備を設置し、運用開始から17年間の維持管理を行います。事業期間終了後は設備を同市に無償譲渡します。

本事業では、発電した電力を設置施設で自家消費するとともに余剰分を蓄電池に充電し、夜間や雨天時に有効活用することで、施設全体で約4割の二酸化炭素排出量の削減を見込みます。さらに、停電を伴う非常時には太陽光発電設備と蓄電池を防災用電源として活用し、特定の照明やコンセントなどへ電力供給します。

当社は、サラグループの総合力を活かして豊橋市の「ゼロカーボンシティとよはし」実現をサポートするとともに、今後もさまざまなパートナーとの協業のもと、太陽光発電や蓄電池などの分散型エネルギーリソースを活用したカーボンニュートラルの推進をサポートしてまいります。

*1：PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

設備設置事業者（PPA事業者）が施設に太陽光発電設備を設置し、施設側は設備で発電した電気を購入する契約のこと。第三者所有モデルや屋根貸し自家消費型モデルとも呼ばれ、施設所有者は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することが可能となります。

事業スキーム

→ 電力 ← 金銭 ← その他

太陽光発電設備設置
蓄電池設置
電力販売（自家消費分）

設備所有者
（サラエナジー）

対価支払い
（自家消費分）

設備・EPC*2・O&M*3提供

設備メーカー
（長州産業）
EPC・O&M業者
（保守委託先：動力）

電力消費者
（豊橋市）

【平常時】
発電電力を使用

【非常時】
防災用電源

電力販売
（不足分）

対価支払い
（不足分）

電力供給

小売電気事業者
（サラeパワー等）

発電事業者
（サラeパワー）
東三河バイオマス発電所



以上

----- 本件に関するお問合せ先 -----

サラエナジー株式会社 総務グループ 久保田 TEL/0532-51-1220